

地域で広げ・つなげる開発教育 実践者に聞くりレートーク

オンライン開催・無料

6

2022年6月から11月（月1回）
全6回開催（単発参加もできます）



平日夜または土日祝の午前
120分+30分の交流会

www.dear.or.jp/event/9637/



＼続ける秘訣・広げるコツを「あの人」に聞いてみよう／

DEAR（旧：開発教育協議会）が1982年に活動をはじめて40年が経ちます。日本での開発教育はDEARだけでなく、全国各地の教育関係者、NGO/NGO、国際交流協会、社会教育や青少年教育団体、JICAやJICA国際協力推進員、サークルなど、多様な個人・グループによって実践され、広まってきました。

DEARではこれまで、特に団体・グループで開発教育を実践する方々と共に「地域ネットワーク会議」を開催し、地域での展開について情報交換し、話し合ってきました。今回は、6名の実践者の方から「地域でどのように開発教育を展開してきたのか」を中心にリレートーク形式でその歩みをじっくりお聞きします。

- 6月 岩崎 裕保さん（NPO法人関西NGO協議会、元DEAR代表理事）
- 7月 玉城 直美さん（NPO法人沖縄NGOセンター）
- 8月 阿部真理子さん（NPO法人IVY）
- 9月 小泉 雅弘さん（NPO法人さっぽろ自由学校「遊」）
- 10月 磯野 昌子さん（かながわ開発教育センター）
- 11月 大森 容子さん（公益財団法人滋賀県国際協会）



主催：認定NPO法人開発教育協会（DEAR）

E: main@dear.or.jp W: <http://www.dear.or.jp/> FB/T: @ngoDEAR

在宅勤務を行っています。お問い合わせはメールでお願いします。



地域で広げ・つなげる開発教育 実践者に聞くリレートーク



■会場：オンライン開催

オンライン会議ツールの「ZOOM」を利用します

※事前申し込みされた方に、参加方法をご案内いたします。

※安定したインターネット環境、マイク・スピーカー機能のついた PC もしくはスマホ、タブレットが必要です。画面共有や資料配布を行うため、PC での参加をお勧めします。

■対象者：開発教育を地域で実践している方・したい方、DEAR の活動に参加してみたい方など。

■定員：各回 20 名程度（定員に達し次第締め切ります）

■参加費：無料 ※ご寄付を歓迎します

■スケジュール

		各回のすすめ方（予定）
6月8日（水） 19時～21時	岩崎裕保さん（関西 NGO 協議会） キーワード：開発教育の芽吹き、核、先住民族、 開発教育研究会と関西における役割	1. あいさつと参加者自己紹介 2. ゲスト・トーク（約 45 分） 3. 聞き手からの代表質問
7月（調整中）	玉城直美さん（沖縄 NGO センター） キーワード：地域の課題に市民活動として関わ ること、組織運営、次世代へのバトン	4. グループワークで感想シェア 5. 質疑応答
8月（調整中）	阿部真理子さん（IVY） キーワード：ユースと開発教育、JICA・国際交 流協会との連携、国際協力と地域活動	6. クロージング 7. 余韻を楽しむ交流会 （～30 分／自由参加）
9月（調整中）	小泉雅弘さん（さっぽろ自由学校「遊」） キーワード：北海道で北海道の課題を語るこ と、テーマを越えたネットワークづくり	● 各回ともに「聞き手」との 対話形式で開催します。
10月（調整中）	磯野昌子さん（かながわ開発教育センター） キーワード：開発教育センターを立ち上げた経 緯、広げていった過程、フェアトレード	● 「話し手」に聞いてみたい ことがあれば参加申込時に お知らせください。
11月3日（木・祝） 10時～12時	大森容子さん（滋賀県国際協会） キーワード：Glocal net Shiga、震災と在住外国 人支援、次世代へのバトン	

■参加申込

ウェブサイトに掲載の申込フォームにご記入のうえ送信してください。

参加申込の受付は各回の約 1 か月前より開始します。

<http://www.dear.or.jp/event/9637/>

